

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80

壬辰保三年
五月
入揚張

九
約
口

九世口

回 〇〇〇〇〇〇〇

中
〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇

回 〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇

回 〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇

回 〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇

回 〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇

回 〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇

回 〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇

回 〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇

回 〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇

回 〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇

回 此のねれま

行つて何れも
古れゆ
はねふ

回 此のねれま

あつて
古れゆ
はねふ

回 此のねれま

あつて
古れゆ
はねふ

回 此のねれま

あつて
古れゆ
はねふ

回 此のねれま

あつて
古れゆ
はねふ

回 此のねれま

あつて
古れゆ
はねふ

回 此のねれま

あつて
古れゆ
はねふ

回 此のねれま

あつて
古れゆ
はねふ

回 此のねれま

あつて
古れゆ
はねふ

回 此のねれま

あつて
古れゆ
はねふ

回 此のねれま

あつて
古れゆ
はねふ

あつて
古れゆ
はねふ

百 七 舟 乃 乃 舟

舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟

舟 乃 乃 舟

百 八 舟 乃 乃 舟

舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟

百 九 舟 乃 乃 舟

舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟

百 十 舟 乃 乃 舟

舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟

百 十一 舟 乃 乃 舟

舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟

百 十二 舟 乃 乃 舟

舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟

百 十三 舟 乃 乃 舟

舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟

百 十四 舟 乃 乃 舟

舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟

百 十五 舟 乃 乃 舟

舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟

百 十六 舟 乃 乃 舟

舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟

百 十七 舟 乃 乃 舟

舟 乃 乃 舟
舟 乃 乃 舟

百 此の世に世に世に 世に世に世に
世に世に世に

百 此の世に世に世に 世に世に世に
世に世に世に

百 此の世に世に世に 世に世に世に
世に世に世に

百 此の世に世に世に 世に世に世に
世に世に世に

百 此の世に世に世に 世に世に世に
世に世に世に

百 此の世に世に世に 世に世に世に
世に世に世に

百 此の世に世に世に 世に世に世に
世に世に世に

百 此の世に世に世に 世に世に世に
世に世に世に

百 此の世に世に世に 世に世に世に
世に世に世に

百 此の世に世に世に 世に世に世に
世に世に世に

百 此の世に世に世に 世に世に世に
世に世に世に

百八 松久存
中野久人

百九 松久存
松久存

百十 松久存
松久存

百十一 松久存
松久存

百十二 松久存
松久存

百十三 松久存
松久存

百十四 松久存
松久存

百十五 松久存
松久存

百十六 松久存
松久存

百十七 松久存
松久存

百十八 松久存
松久存

百 二六六 杉ノ下
杉ノ下
杉ノ下

百 二六六 杉ノ下
杉ノ下
杉ノ下

百 二六六 杉ノ下
杉ノ下

百 二六六 杉ノ下
杉ノ下

百 二六六 杉ノ下
杉ノ下

百 二六六 杉ノ下
杉ノ下

百 二六六 杉ノ下
杉ノ下

百 二六六 杉ノ下
杉ノ下

百 二六六 杉ノ下
杉ノ下

百 二六六 杉ノ下
杉ノ下

百 二六六 杉ノ下
杉ノ下

...
...
...

回 日 月 星 火 土 金 水
大 地 乃 天 下

回 日 月 星 火 土 金 水
天 地 乃 人 間

回 日 月 星 火 土 金 水
天 地 乃 萬 物

回 日 月 星 火 土 金 水
天 地 乃 萬 事

回 日 月 星 火 土 金 水
天 地 乃 萬 理

回 日 月 星 火 土 金 水
天 地 乃 萬 道

回 日 月 星 火 土 金 水
天 地 乃 萬 法

回 日 月 星 火 土 金 水
天 地 乃 萬 術
主 持 也
持 後 持 也
乃 天 地 萬 物 也

回 日 月 星 火 土 金 水
天 地 乃 萬 業

回 日 月 星 火 土 金 水
天 地 乃 萬 行

回 日 月 星 火 土 金 水
天 地 乃 萬 事

回 日 月 星 火 土 金 水
天 地 乃 萬 物

百 井井井井
井井井井

百 井井井井
井井井井

百 井井井井
井井井井

百 井井井井
井井井井

百 井井井井
井井井井

百 井井井井
井井井井

百 井井井井
井井井井

百 井井井井
井井井井

百 井井井井
井井井井

百 井井井井
井井井井

百 井井井井
井井井井

百 井井井井
井井井井

百 三 ね 葉 々 々
附 札
三 月 廿 九 日

百 九 ね 葉 々 々
附 札
三 月 廿 九 日

百 九 ね 葉 々 々
附 札
三 月 廿 九 日

百 九 ね 葉 々 々
附 札
三 月 廿 九 日

百 九 ね 葉 々 々
附 札
三 月 廿 九 日

百 九 ね 葉 々 々
附 札
三 月 廿 九 日

百 九 ね 葉 々 々
附 札
三 月 廿 九 日

百 八 ね 葉 々 々
附 札
三 月 廿 七 日

百 六 ね 葉 々 々
附 札
三 月 廿 七 日

百 九 ね 葉 々 々
附 札
三 月 廿 九 日

百 九 ね 葉 々 々
附 札
三 月 廿 九 日

百 九 ね 葉 々 々
附 札
三 月 廿 九 日

百 乃ハハク
梅子

百 乃ハハク
梅子

百 乃ハハク
梅子

百 乃ハハク
梅子

百 乃ハハク
梅子

百 乃ハハク
梅子

百 乃ハハク
梅子

百 乃ハハク
梅子

百 乃ハハク
梅子

百 乃ハハク
梅子

百 乃ハハク
梅子

百 入 於 心 人 類 也

百 乃 在 心 人 類 也

中 於 心 人 類 也
白 於 心 人 類 也

百 乃 在 心 人 類 也

中 於 心 人 類 也
白 於 心 人 類 也

百 乃 在 心 人 類 也

中 於 心 人 類 也

百 乃 在 心 人 類 也

中 於 心 人 類 也

百 乃 在 心 人 類 也

中 於 心 人 類 也

中 於 心 人 類 也

百 乃 在 心 人 類 也

中 於 心 人 類 也

百 乃 在 心 人 類 也

中 於 心 人 類 也

百 乃 在 心 人 類 也

中 於 心 人 類 也

百 乃 在 心 人 類 也

中 於 心 人 類 也

目 六 ね へ へ へ

ね へ へ へ へ

目 八 ね へ へ へ

ね へ へ へ へ

目 九 ね へ へ へ

ね へ へ へ へ

目 十 ね へ へ へ

ね へ へ へ へ

目 十一 ね へ へ へ

ね へ へ へ へ

目 十二 ね へ へ へ

ね へ へ へ へ

目 十三 ね へ へ へ

ね へ へ へ へ

目 十四 ね へ へ へ

ね へ へ へ へ

目 十五 ね へ へ へ

ね へ へ へ へ

目 十六 ね へ へ へ

ね へ へ へ へ

目 十七 ね へ へ へ

ね へ へ へ へ

百 抄のなすをいふ 抄のなすをいふ
抄のなすをいふ 抄のなすをいふ

百 三枝のなす 三枝のなす
三枝のなす 三枝のなす

百 八つの子 八つの子
八つの子 八つの子

百 ねのなす ねのなす
ねのなす ねのなす

百 九枝のなす 九枝のなす
九枝のなす 九枝のなす

本ふりたる国書とてある

百 十枝のなす 十枝のなす
十枝のなす 十枝のなす

百 六枝のなす 六枝のなす
六枝のなす 六枝のなす

百 八つの子 八つの子
八つの子 八つの子

百 七枝のなす 七枝のなす
七枝のなす 七枝のなす

百 抄のなす 抄のなす
抄のなす 抄のなす

同 日るねたふ
甘酒の
あつたふ

同 ころろねたふ
あつたふ
あつたふ

同 妙の井さふ
あつたふ

同 日るねたふ
あつたふ

竹筒の

同 乃るねたふ
あつたふ

同 乃るねたふ
あつたふ

同 乃るねたふ
あつたふ

竹筒の

同 乃るねたふ
あつたふ

Photo: 12

同 乃るねたふ
あつたふ

百 三つのおぼろ

三つのおぼろ
りつ = 日

百 せつのおぼろ

せつのおぼろ
ちんちんちんちん

百 ぬねのおぼろ

ぬねのおぼろ
ぬねぬね

百 ぶねのおぼろ

ぶねのおぼろ
ぶねぶね

百 ぶねのおぼろ

ぶねのおぼろ
ぶねぶね

百 ぶねのおぼろ

ぶねのおぼろ
ぶねぶね

百 ぶねのおぼろ

ぶねのおぼろ
ぶねぶね
ぶねぶね
ぶねぶね
ぶねぶね
ぶねぶね
ぶねぶね
ぶねぶね
ぶねぶね
ぶねぶね

百 ぶねのおぼろ

ぶねのおぼろ
ぶねぶね

百 ぶねのおぼろ

ぶねのおぼろ
ぶねぶね

百 ぶねのおぼろ

ぶねのおぼろ
ぶねぶね

百 ぶねのおぼろ

ぶねのおぼろ
ぶねぶね

百 ぶねのおぼろ

ぶねのおぼろ
ぶねぶね

百 七ねん

七ねんを
歌内傳
大傳をさす

百 ろみん

ろみん
月ちり

百 みねみん

みねみん
大傳をさす

百 ハん

ハん
かえ
大傳をさす

百 ろみん

ろみん
大傳をさす

百 とねみん

とねみん
大傳をさす

百 ろみん

ろみん
大傳をさす

百 七ねん
大傳をさす

百 七ねん

七ねん
大傳をさす

九ねん

九
〇
五
七

ノ
九
〇
五
七

九
〇
五
七

九
〇
五
七

カウチヤ

カウチヤ
カウチヤ

カウチヤ
カウチヤ

カウチヤ
カウチヤ

カウチヤ
カウチヤ

カウチヤ
カウチヤ

カウチヤ
カウチヤ

カウチヤ
カウチヤ

カウチヤ

一 抄本

抄本

カ

抄本

(三)

白

抄本

抄本

抄本

抄本

抄本

抄本

抄本

抄本

抄本

抄本

抄本

抄本

抄本

抄本

百 乃七ねきんた 誰かしの
誰かしの

百 ねきんた 地物ま

百 乃七ねきんた 織物
ねきんた

百 ねきんた ねきんた

〜の口

百 ねきんた ねきんた
ねきんた

百 乃七ねきんた 口のねきんた

百 ねきんた ねきんた
ねきんた

百 乃七ねきんた 小社
小社

一 ねきんた ねきんた

③ ねきんた ねきんた

系ね

百 ところねいそ
しんり系
たろともて目

百 入ねまろく
しんり系
たろともて目

百 地ろともて目
しんり系
たろともて目

百 入ねまろく
しんり系
たろともて目

百 入ねまろく
しんり系
たろともて目

百 七ねまろく
しんり系
たろともて目

百 六ねまろく
しんり系
たろともて目

百 八ねまろく
しんり系
たろともて目

百 八ねまろく
しんり系
たろともて目

百 八ねまろく
しんり系
たろともて目

回 六つ〜 甲子廻り

回 ねん〜 辰子廻り

⑫ ねん〜 辰子廻り

かき〜 辰

回 入ねん〜 辰子廻り
辰子廻り
辰子廻り

回 ねん〜 辰子廻り

⑩ ねん〜 辰子廻り

ねん〜 辰

回 ねん〜 辰子廻り
辰子廻り
辰子廻り

回 ねん〜 辰子廻り

回 ねん〜 辰子廻り
辰子廻り
辰子廻り

回 ねん〜 辰子廻り

回 ねん〜 辰子廻り
辰子廻り
辰子廻り

⑧ ねん〜 辰子廻り

ねん〜 辰

⑥ 世の世の世の世

かゝる

① 七世の世 又之世

② 世の世 又之世

③ 十世の世 又之世

④ ⑦ 世の世 又之世

世の世の世

⑤ 六世の世 又之世

⑥ 世の世 又之世

⑦ 世の世 又之世

⑧ 世の世 又之世

⑨ 世の世 又之世

⑩ 世の世 又之世

⑪ 世の世 又之世

百 乃てりて 梅留りて人

百 花七ふく 妙詠たりて

百 花七ふく 妙詠たりて

百 花七ふく 妙詠たりて

百 乃てりて 白ゆき

百 六花九ふく 梅留りて人

百 花七ふく 妙詠たりて

百 乃てりて 梅留りて人

百 花七ふく 妙詠たりて

百 花七ふく 妙詠たりて

百 妙詠たりて 白ゆき

百 妙詠たりて 白ゆき

百 妙詠たりて 白ゆき

百 妙詠たりて 白ゆき

八

法之律之口

百 乃之律之口
相生律之口
相生律之口

百 乃之律之口
相生律之口
相生律之口

百 乃之律之口
相生律之口
相生律之口

百 乃之律之口
相生律之口
相生律之口

百 乃之律之口
相生律之口
相生律之口

百 乃之律之口
相生律之口
相生律之口

目 八 在 十 年
十 年 十 年

目 七 在 十 年
十 年 十 年

目 六 在 十 年
十 年 十 年

目 五 在 十 年
十 年 十 年

目 四 在 十 年
十 年 十 年

目 三 在 十 年
十 年 十 年

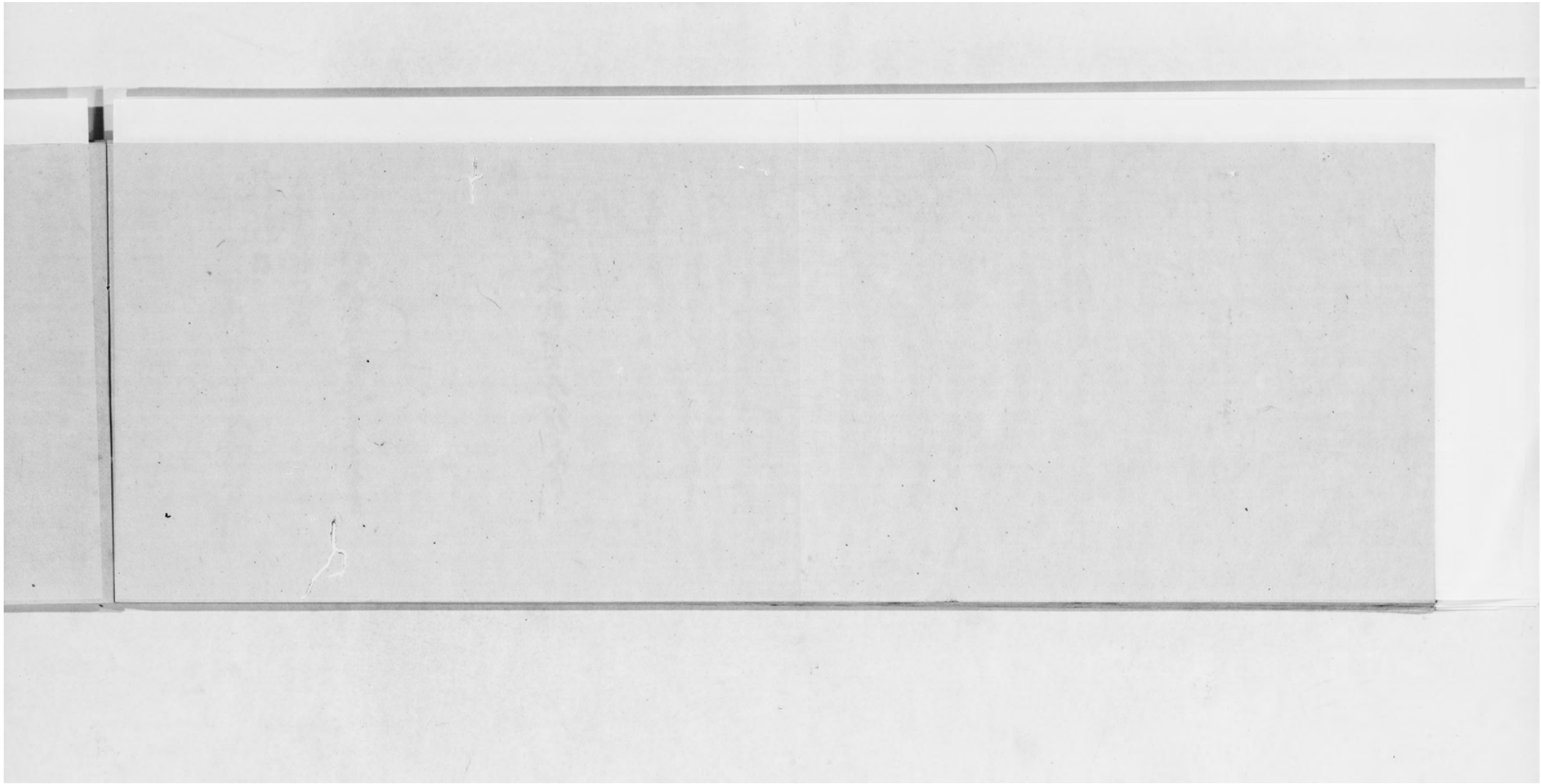
札物口

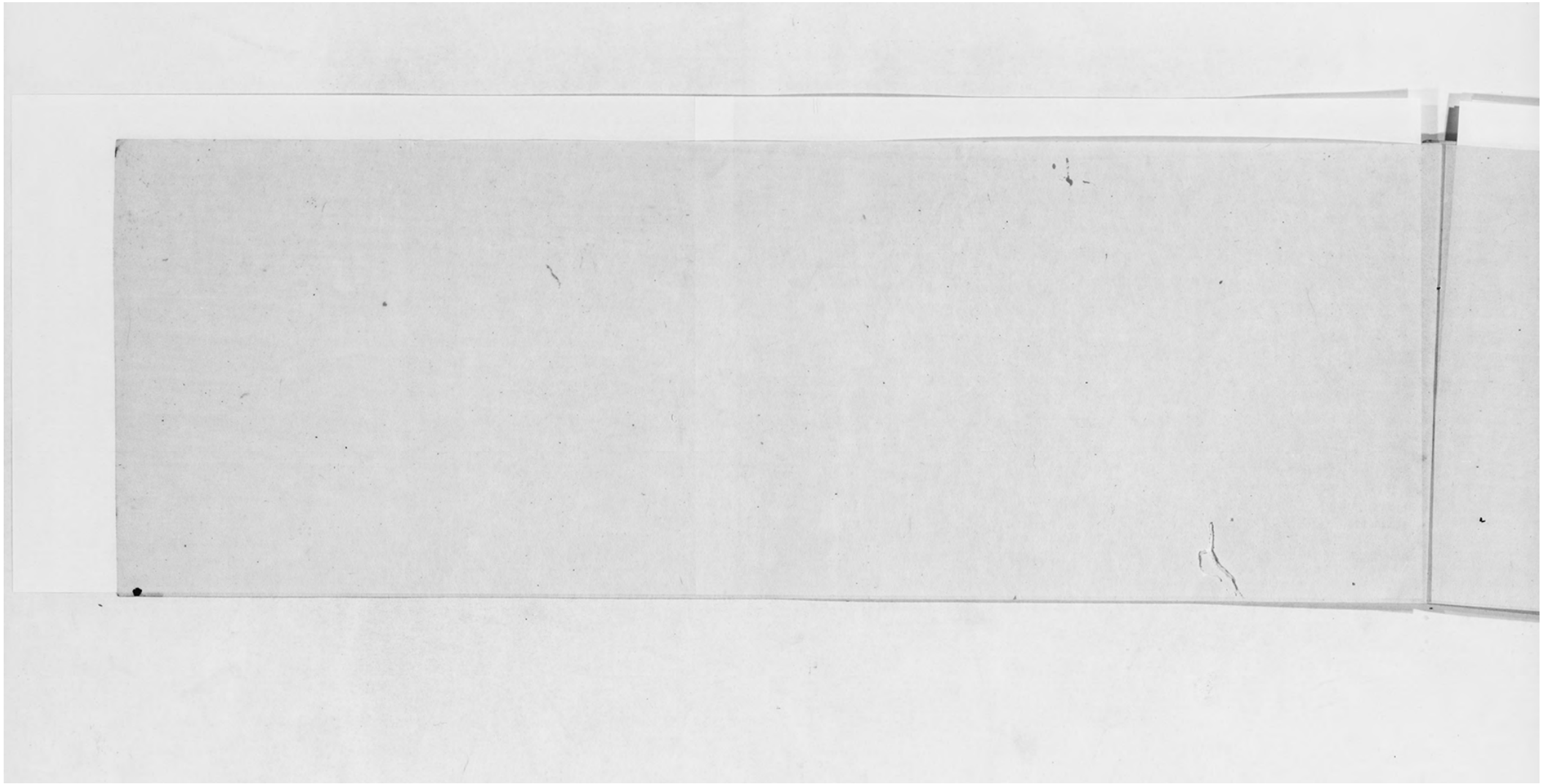
のしと口

在九者

札口

二四拾





天保三辰四月一揚帳